

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

| 1. 基本情報 | | | | |
|-----------------|---|---|--|---|
| ふりがな | のぐちともこ | | |  |
| 氏名 | 野口 智子 | | | |
| 所属 | ゆとり研究所 | | | |
| 役職 | 所長 | | | |
| 活動エリア | 全国 | | | |
| 連絡先 | 住所 | 〒 | | |
| | 電話番号 | | | |
| | メールアドレス | yutori@noguchi-tomoko.com | | |
| キャッチコピー | 楽しく丁寧に人と人を繋げます。 | | | |
| 自己PR | 地域づくりを自分事としてとらえ、みんなでアイデアを出すワークショップの構成、進行が得意です。地域の高齢者や女性が弾き飛ばされないように、寄り添いながら進める話し合いは、必ず実践に繋がります。そんなことを各地でしてきました。都市部の若者がカタカナを振り回すワークショップでは、本当の腹を割った話し合いはできません。田舎の、人口の小さな土地の物差しで、繋がりを紡いでいきたく努力しています。ライフワークとして20年以上、スローライフ運動もしています。 | | | |
| 関連ホームページ | 名称 | アドレス | | |
| | 野口智子のブログ | http://www.noguchi-tomoko.com/ | | |
| | スローライフの会ホームページ | http://www.slowlife-japan.jp/ | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 2. 略歴・受賞歴 | | | | |
| 略歴・受賞歴 | 千葉県千葉市出身 平成4年ゆとり研究所設立。平成15年NPOスローライフ・ジャパン設立、令和6年からスローライフの会に、現在共同代表。総務省地域力創造アドバイザー。国土交通省国土審議会半島振興対策部会特別委員。都市緑化機構評議委員。 | | | |
| 3. 取組分野 | | | | |
| ● 観光 | (住民参加による体験型の日常観光の企画・実施) | | | |
| 移住・定住・関係人口 | (| | | |
| ● 農林水産業 | (みんなで考える、地域の身近な資源を活用する特産品づくり) | | | |
| 起業支援 | | | | |
| まちなか再生 | | | | |
| ● 集落再生 | (ワークショップでプロジェクトを考える集落の活性化) | | | |
| 環境 | (| | | |
| その他 | (| | | |
| 4. ふるさと財団での実績 | | | | |
| 外部専門家 (活用助成) | <ul style="list-style-type: none"> ◆2023年度 奈良県十津川村「特産品と人材の開発&ブラッシュアップ事業」 ◆2021年度 長崎県雲仙市『雲仙人プロジェクト』による地域活性化事業」 ◆2015年度～2016年度 和歌山県紀の川市 「フルーツ・ツーリズムの展開によるファン獲得プロジェクト」 ◆2010年度～2011年度 新潟県胎内市 「米粉を軸とした地域食材の活用による商品開発」 | | | |

5. 取組内容・実績

取組内容・実績

【取組事例①】

(1)事業名 : 令和6年度水源の里アドバイザー事業

(2)対象地 : 京都府綾部市

(3)事業目的: 水源の里として指定された市内21か所の限界集落の活性化

(4)事業内容: 全集落を回りながら、ヒアリングとアドバイス。地理的に近い集落のグルーピング。各人がアイデアを出す基礎をつくる。今後プロジェクト化していく。

(5)事業による成果: お互いあまり知らなかった集落同士が知り合った。協力して進める機運が高まった。女性や移住者などが集落活動に参加し発言する機会をつくり、喜ばれている。次の段階として、サポーター組織を作ろうとしている。

【取組事例②】

(1)事業名 : 令和6年度富岡市円卓会議支援事業

(2)対象地 : 群馬県 富岡市

(3)事業目的: 地域活性化のための円卓会議を進行し、実行に繋がるプロジェクトにまとめる。

(4)事業内容: 市内4カ所の地域活動センターにはいりワークショップを開催。高校生から高齢者が平かな場で話し合う。素朴なアイデアをまとめて、実行可能なプロジェクトに仕上げる。

(5)事業による成果: 4地区で計10のプロジェクトが決まる。「公民館のリニューアル案」「シンボルの山を活用」「地域カルタとポッチャ」「廃校校舎で泊まろう」「ドローンまちづくり」「朝市食堂」など。年度内に既に実行したところもある。

【取組事例③】

(1)事業名 : 令和6年度池田町協働のまちづくりセミナー

(2)対象地 : 北海道池田町

(3)事業目的: 地域づくりのアイデアを出し合い、プロジェクトにまとめる。

(4)事業内容: 「わいわいミーティング」としてワークショップを開催。山ほどのアイデアを絞り込み、プロジェクトに。

(5)事業による成果: まちなかの賑わいづくり、ワイン城活性化の案、高校にワイン科を、などプロジェクトが出来上がる。旧住民や移住者、高校生などが仲良くなる。今後この動きを続ける予定。

【取組事例④】

(1)事業名 : 安中市移住定住アクションプラン策定委員会ワークショップ

(2)対象地 : 群馬県 安中市

(3)事業目的: 移住・定住を促進するための計画に盛り込む市民による案を作る。

(4)事業内容: アークショップによりアイデアを出し、プロジェクトにまとめる。

(5)事業による成果: 「峠・宿場を活かしたマルシェ」「企業連携によるバスツアー」「交流の為に拠点づくり」「農×宿泊のプラン」などがまとまる。移住者と市民、若者たちが仲間になった。

その他、令和6年度女性団体等活躍推進事業、高知県高知市、女性団体事例発表・展示PR会コーディネート。令和6年度スローライフ・フォーラムinゆすはら、高知県構原町、フォーラム全体コーディネート。など。